

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル:

Having small for gestational age infants was associated with maternal allergic features in the JECS birth cohort

和文タイトル:

母親のアレルギー疾患とsmall-for-gastational-age(SGA)の関連について

ユニットセンター(UC)等名: メディカルサポートセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Allergy

年: 2018 月: 5 (オンラインで掲載)

筆頭著者名: 齋藤麻耶子

所属UC名: メディカルサポートセンター

目的:

近年、母体喘息によりsmall-for-gastational-age(SGA)のリスクが上がると報告があり、母親のアレルギー疾患がSGAの原因となる可能性が示唆されている。本研究は妊娠中の母親のIgE感作およびアレルギー疾患とSGAの関連を検討することを目的とした。

方法:

エコチル調査へ参加した90,206名の母親を対象に、妊娠初期の総IgE、特異的IgE抗体価およびアレルギー疾患の既往歴と、児のSGAの有無および出生体重・身長(標準偏差)の関連についてそれぞれ単変量・多変量ロジスティック解析および線形回帰分析を行った。共変量は児の性別、母親の出産時年齢、婚姻状況、妊娠初期のBMI、出産歴、最終学歴、既往の妊娠異常・分娩異常の有無、糖尿病、喫煙等とした。

結果:

母親のlog[総IgE]およびアトピー性皮膚炎とSGAに有意な関連を認めた(aOR 1.04, 95%CI:1.01-1.07, aOR 1.11, 95%CI:1.00-1.24)。また母親のlog[総IgE]と身長および体重のSD値に、母親のアトピー性皮膚炎と身長のSD値に、有意な関連を認めた(B=-0.01, 95% CI: -0.01 - -0.003、B=-0.01, 95% CI: -0.01 - -0.003、B=-0.02, 95% CI: -0.04 - -0.004)。

考察:(研究の限界を含める)

本研究は日本における大規模出生コホートで初めて、SGA児の出産と母親のIgE産生、アレルギー疾患の関連について検討した。研究の限界として、母親のアレルギー疾患の重症度や治療内容が明らかでないこと、またアレルギー疾患が妊娠中にあったのか既往のみなのかが不明な点がある。妊娠中にアレルギー疾患があった母親を対象に解析を行えば、今回のSGA児とアレルギー疾患との関連はより強いものであったかもしれない。

結論:

母親のIgE感作やアトピー性皮膚炎がSGAのリスクとなる可能性があり、アトピー性皮膚炎については出生身長よりも出生体重にその影響が強いことが示唆された。